

高山赤十字病院内科(内分秘専門医)後期臨床研修プログラム

1. 研修期間

シニアレジデント：3年(認定内科医取得期間、専門医取得準備期間)

チーフレジデント：2年(専門医取得期間)

シニアレジデントは内科後期臨床研修プログラムに従う、本格的に行うのはチーフレジデント期間中である。

2. 後期臨床研修の目的

一般患者の中に埋もれている内分秘疾患を的確に診断し、治療に結びつけられること。

専門的な糖尿病治療ができ、他の医師の相談役となれること。

3. 到達目標

内分秘専門医の取得

4. 研修プログラム

<シニアレジデント期間およびチーフレジデント1年目>

ホルモンに対する基礎的な知識を有する(解剖・種類・作用・フィードバック機構など)

内分秘疾患の主要徴候を理解している(意識障害・動悸・視力障害・筋力低下・テタニー・高血圧・無月経・インポテンス・肥満・やせ・低身長・高身長・多汗・粘液水腫・多毛・脱毛・乳汁漏出・女性化乳房・満月様顔貌・多飲・多尿・皮膚線条・黄色腫・甲状腺腫・性早熟・二次性徴の遅延など)

内分秘代謝疾患の検査(各種ホルモン基礎値・基本的な負荷検査)について理解している

一般的な生化学検査(電解質・糖代謝・脂質など)について理解している

各種疾患に関して;

SIADHの診断ができる

甲状腺の触診および基本的なエコー検査ができる

甲状腺疾患診断のための検査指示ができる

甲状腺中毒症の鑑別およびバセドウ病の診断ができる

バセドウ病患者に説明ができる

橋本病の診断ができる

高カルシウム血症の鑑別ができる

悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症の治療ができる

Cushing症候群・原発性アルドステロン症・褐色細胞腫の診断ができる

糖尿病の診断・病型診断ができる

糖尿病の治療方針が決定できる

糖尿病の合併症の診断ができる

経口血糖降下剤およびインスリンによる治療ができる

糖尿病患者の教育ができる
痛風の診断および治療ができる
高脂血症の診断および治療ができる

<チーフレジデント1～2年目>

プロラクチノーマなど、下垂体腫瘍の診断・治療方針の決定ができる
甲状腺エコー検査の所見が読影でき、吸引細胞診の基本的な手技ができる
バセドウ病の治療方針の決定および抗甲状腺剤による治療ができ、寛解に導くことができる
抗甲状腺剤の副作用のチェックと対策ができる
亜急性甲状腺炎の治療ができる
甲状腺腫瘍の治療方針が決められる
甲状腺機能低下症の治療ができる
原発性副甲状腺機能亢進症の治療方針が決定できる
副甲状腺機能低下症の診断ができる
副腎疾患の画像診断ができる
Cushing 症候群の病型診断ができる
原発性アルドステロン症の病型診断ができる
ステロイドホルモンの補充療法（クリーゼを含む）ができる
電解質異常に対する補正ができる
糖尿病性昏睡の治療ができる
1型糖尿病患者の管理ができる
低血糖症の鑑別ができる
肥満症の管理ができる

<チーフレジデント2～3年目>

下垂体性小人症の診断および管理ができる
エコーガイド下で甲状腺の吸引細胞診検査が1人でできる
バセドウ病の放射性ヨード治療ができる
妊娠合併バセドウ病患者の管理ができる
甲状腺癌術後の管理ができる
甲状腺クリーゼの治療ができる
二次性副甲状腺機能亢進症の診断・治療ができる
褐色細胞腫の術前のコントロールができる
糖尿病の患者教育（糖尿病教室での講義）ができる
骨粗鬆症の診断・治療ができる
思春期遅発症の診断および管理ができる
性腺疾患の診断および管理ができる
研修医に対して内分泌代謝疾患の基本的な指導ができる